



担体型 有機廃水処理法

水処理工程における
発生汚泥の減量化を目指す

担体型有機廃水処理法研究会会員一覧

会 長 野村 喜一 (株式会社日水コン代表取締役社長)

会 員(50音順)

株式会社アクト

〒485-0801 愛知県小牧市大字大山字苗田946-1
TEL.0568-47-2421 FAX.0568-47-2788 <http://www.kk-act.com>

小木曾建築有限会社

〒507-0017 岐阜県多治見市長瀬町24-53
TEL.0572-22-8703 FAX.0572-22-8963

株式会社サニコン

〒591-8034 大阪府堺市北区百舌鳥陵南町3-345
TEL.072-277-3255 FAX.072-277-0200 <http://www.sanicon.co.jp>

東朋テクノロジー株式会社

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-10-22
TEL.052-251-7586 FAX.052-251-1700 <http://www.toho-tec.co.jp>

株式会社日水コン

〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1(新宿スクエアタワー)
TEL.03-5323-6200 FAX.03-5323-6480 <http://www.nissuicon.co.jp>

株式会社マエダマテリアル

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町4621-2
TEL.0572-43-2205 FAX.0572-43-2208 <http://www.maeda-material.jp>

Sakura Eco Tech Co.LTD

40,34B, street, Area 5, An Phu Ward, District 2, Ho Chi Minn, Vietnam
TEL. +84-121-7926-165

事務局

株式会社日水コン内

〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1(新宿スクエアタワー)
TEL.03-5323-6200 FAX.03-5323-6480 <http://www.tantai-tt.jp/>

担体型有機廃水処理法研究会

担体型有機廃水処理法研究会設立のご案内

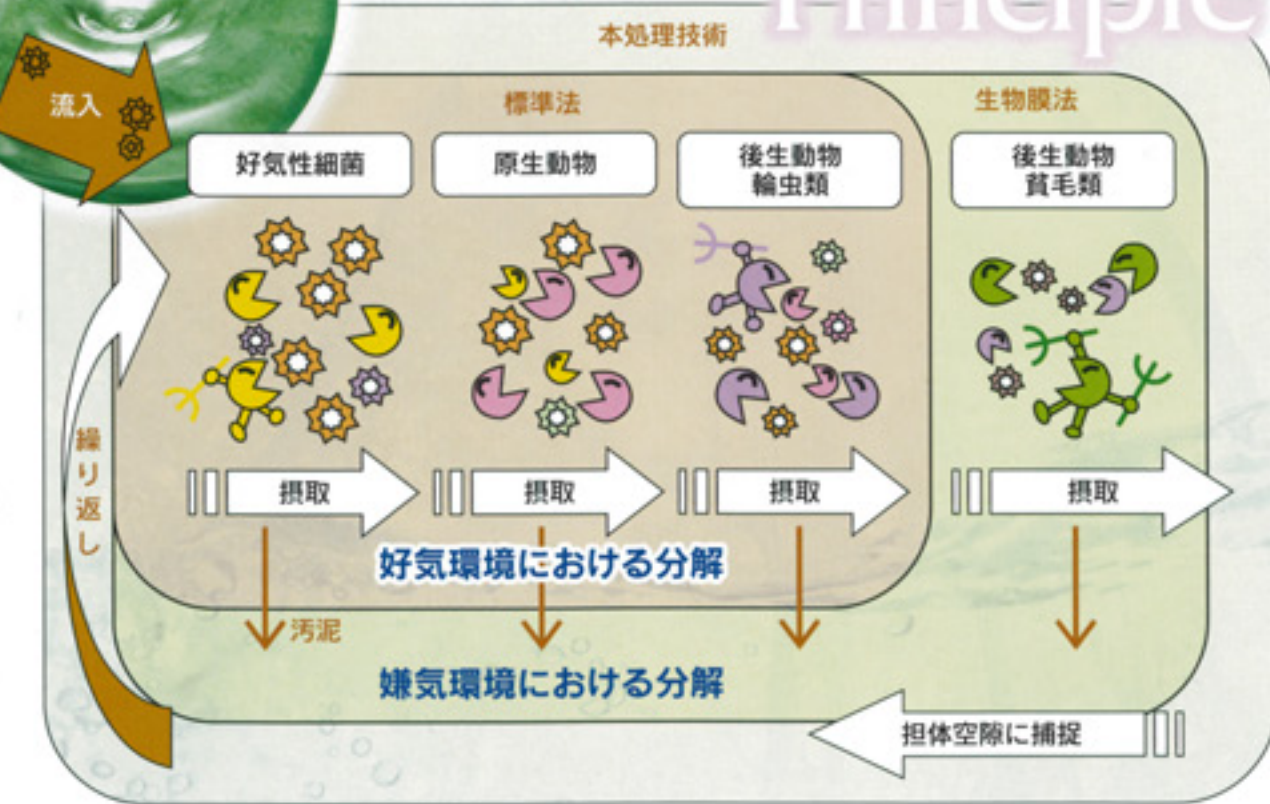
2009年12月10日 本研究会は、担体型有機廃水処理法として担体(KIDS: Kureha Integrated Digestion Strand)を利用した処理法の技術確立・普及、および情報の収集・蓄積を行うことにより、本処理法の健全な発展を図ることを目的として設立されました。

水処理工程で発生する汚泥の処分には、汚泥処理設備や維持管理等に多大なエネルギーと費用がかかります。本研究会は、合理性・経済性の面から、水処理工程の段階で発生する汚泥を減量化することを目指します。

担体型有機廃水処理法の特長

- ▶ 標準活性汚泥法と比べて汚泥発生量を半減させることができます。
- ▶ 既存設備を転用して本処理法の導入が可能です。
- ▶ 放流先に応じた処理施設構成を選択できます。
- ▶ 良好な汚濁物除去が可能です。
- ▶ 維持管理が容易です。
- ▶ 担体にリサイクル材を活用した環境にやさしい処理技術です。
- ▶ 施設形状を自由に選択できます。

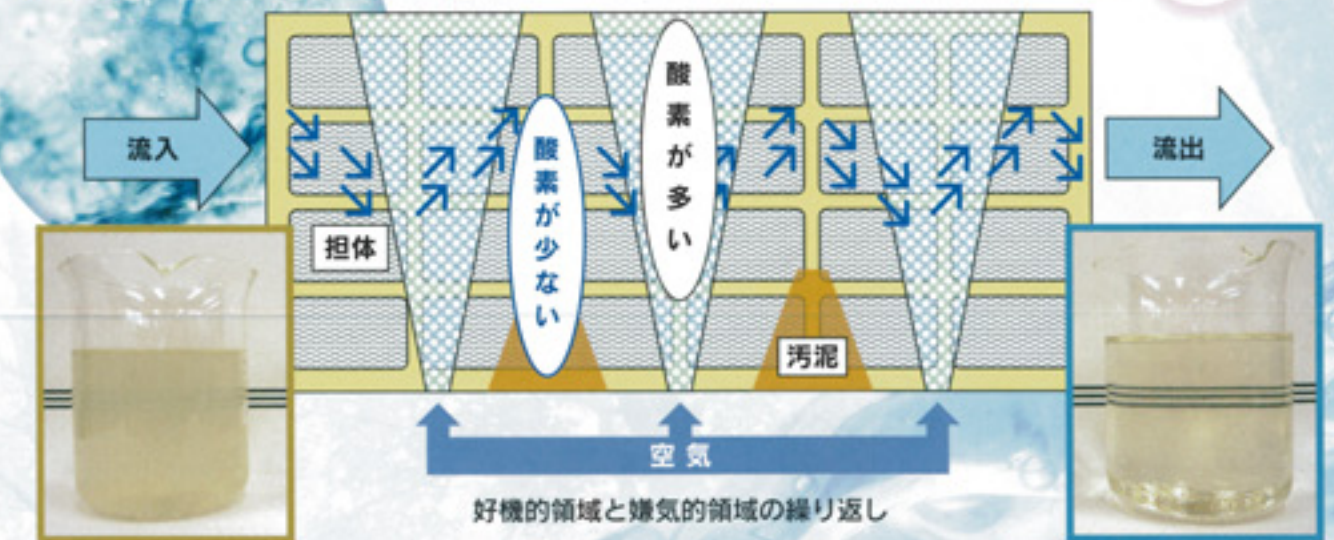
処理技術の原理



本処理技術は、好気環境における分解と嫌気環境における分解の繰り返しおよび食物連鎖によって発生する汚泥を減量化します。

Principle

反応タンク内のイメージ



Image

実験装置



Laboratory Equipment

担体

KIDS



前段部

前段では、有機物量が多いため生物膜が肥大化します。これらの生物による閉塞を防ぐため、ストランド(ひも)間隔が広い担体を用います。



後段部

前段から剥離した生物膜は、小さなSS*となって後段に流れます。これらのSSを効率的に捕捉するため、特殊な内部空間を持つ担体を用います。
* SS: 浮遊懸濁物質

このような用途に適用できます

